

除塩後の土壤塩分濃度の動態と大豆生育への影響

高塩分濃度水田における除塩後の層位別塩分動態や、土性層序による塩害発生の有無の比較から、除塩後の水田利用における大豆作付の可否条件等を提示

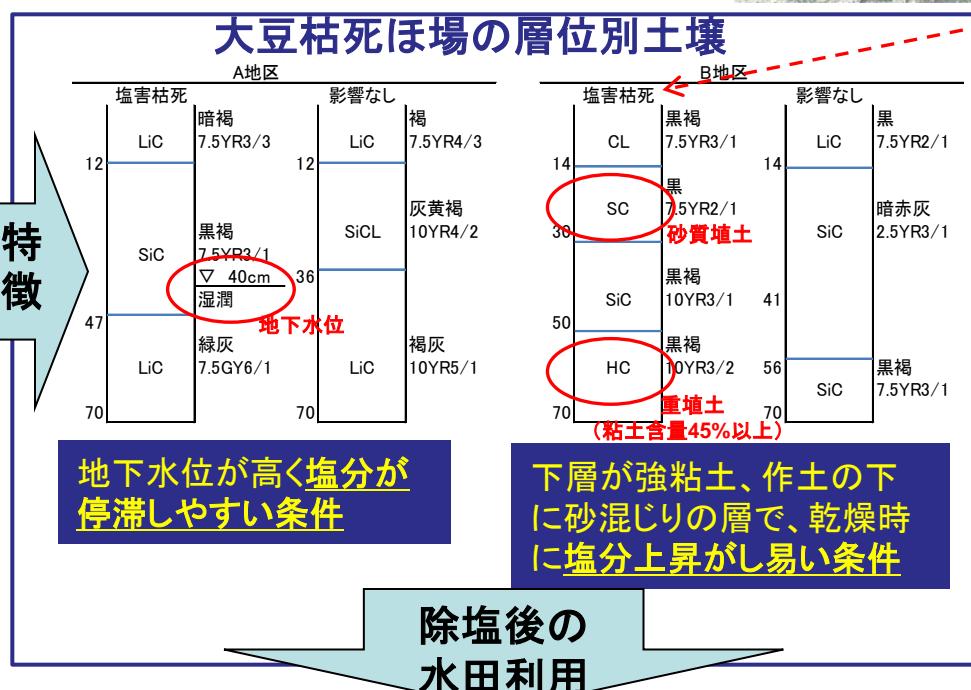
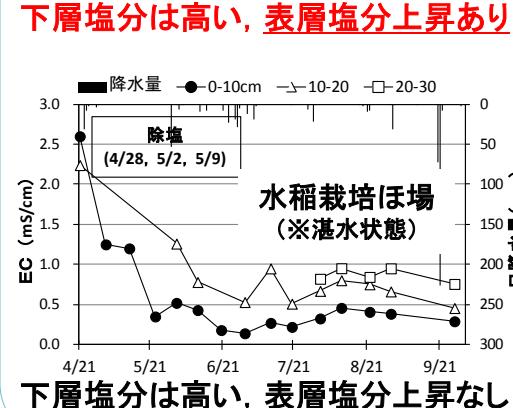
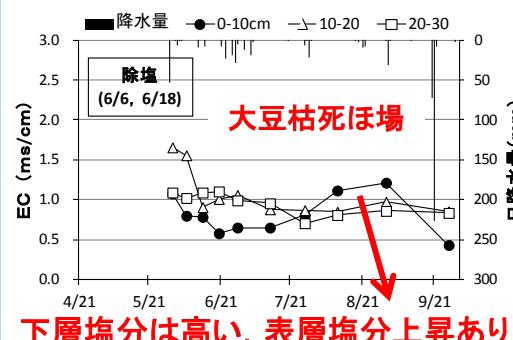
研究開発の背景

津波に伴う高塩分濃度水田に対し、塩害に弱いとされる大豆の作付について、除塩後の作付の可否条件などについての検証が必要とされている。



研究成果の内容

除塩後の層位別EC動態の変化



導入をオススメする対象:
塩害地域の水田転作大豆生産農業者及び営農組織

期待される効果

- 除塩後の水田圃場での作付計画や大豆作付ほ場選定の指標として利用。
- 大豆作付に対する塩害リスク回避が可能となり大豆安定生産

湛水管理が可能な水稻作付を優先。大豆作付においては、排水性の悪いほ場は避け、常に排水向上を図り、降雨による除塩効果を高めることを提示。地下灌漑システムの施工利用・簡易地下灌漑技術の開発利用を提案。